

AEON

株式会社イオンファンタジー

証券コード：4343

Aeon
Fantasy

株主の皆さまへ

第21期期末 株主通信 2016.3.1 → 2017.2.28





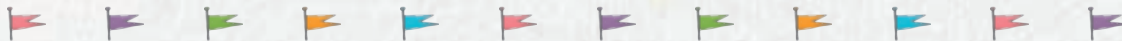
当期の事業状況

2017年2月期は、国内事業を着実に増益基調へ転換し、前年同期に黒字化した海外事業については積極的な拡大を図るべく取り組んでまいりました。主に、国内事業はネットを利用したプロモーションへのシフト、旧ファンフィールド店舗の活性化、新規出店と大型活性化の推進に取り組みました。また、海外事業においても積極的な新規出店を推進し、2017年2月末の店舗数は、国内481店舗、海外334店舗の合計815店舗(直営店799店舗、FC等16店舗)となりました。

当期の連結業績は、売上高650億58百万円(前年同期比10.6%増)と国内既存店が好調であること、2015年6月の株式会社ファンフィールドとの合併効果、および海外事業の積極出店による売上拡大により過去最高となりました。営業利益は37億69百万円(同37.2%増)、経常利益は34億98百万円(同33.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は16億97百万円(同14.7%増)となりいずれも増益を達成し計画を上回りました。また営業利益と親会社株主に帰属する当期純利益は3期連続の増益となりました。

国内事業の実績

国内事業では、遊戯機械売上が年間を通して好調を維持し、当期の既存店伸び率は7.2%増となりました。遊戯機械売上の既存店伸び率は2015年9月よりプラスに転じ1年6ヶ月を経過いたしました。引き続きプラス基調が続いております。部門別では特にプライズ部門が牽引し、当期の既存店伸び率は14.8%増となりました。また、商品売上は9月に31ヶ月ぶりに既存店伸び率がプラスに転じ、その後も順調に推移した結果、下半期の既存店伸び率は7.3%増となりました。これらは従来の店内イベント中心のプロモーションから、本年度よりSNSマーケティングの強化や会員制アプリの開始、YouTubeの活用等、ネットを利用し



たプロモーションへシフトしたことが貢献しております。

合併により受け入れました旧ファンフィールド店舗は、遊戯機械の積極的な改廃による鮮度アップを図るとともに「モリーファンタジー」および「PALO」ブランドへの変更を全店完了いたしました。その結果、旧ファンフィールド店舗は、当期より売上高既存店伸び率がプラスとなり、当期の営業利益も増益となりました。また当期は12店舗の新規出店、38店舗の大型活性化を実施いたしました。

以上の結果、国内事業における当期の業績は、売上高545億75百万円(前年同期比9.4%増)、営業利益36億86百万円(同37.4%増)となりました。

海外事業の取組み

海外事業では当期に6ヶ国で70店舗の新規出店を行い、連結売上における海外売上比率は16.1%となりました。また、営業利益は2期連続の黒字となりました。

中国では、当期に39店舗の出店を行い、増収・増益を達成しております。2015年9月に開始したアプリ会員システムの会員数は2月末で84万6千人となり、アプリ経由での売上が40%を超える水準となっております。このアプリ会員制度を評価いただき11月に中国チェーンストア経営協会より「イノベーション・お客さま体験革新賞」を受賞いたしました。

アセアン諸国では、当期に31店舗の出店を行いました。マレーシアは当期の売上高既存店伸び率が7.4%増、営業利益も増益となり好調に推移しております。また2014年に進出いたしましたフィリピンと2015年に進出いたしましたインドネシアは営業利益が黒字転換し、タイの不振をカバーしております。

タイは当上半期において苦戦しておりましたが、活性化モデル店舗のノウハウを水平展開し10月より5ヶ月連続既存店伸び率がプラスとなり改善基調となっております。

2015年3月に中国で1号店をオープンしたテーマ型インドアプ

レイグラウンド「FANPEKKA」の当期出店は、11月にマレーシア、12月にタイに各国1号店をオープンし、中国の2店舗を含め4店舗となりました。

海外における店舗数は、2017年2月末で334店舗(直営店320店舗、FC等14店舗)となりました。

以上の結果、海外事業における当期の業績は、売上高105億1百万円(前年同期比16.0%増)、営業利益は82百万円(同27.5%増)となりました。

2017年度の見通し

2018年2月期は、昨年度に引き続き国内事業の増益基調を確固たるものとするとともに、海外事業でも100店舗以上の積極出店を計画し更なる拡大を推進してまいります。

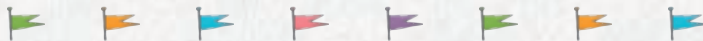
国内、海外を含めた圧倒的な店舗数を背景に、次期中期経営計画の基本戦略である「世界中のおもしろい遊びと自ら創出した新しい遊びを、ブランディングされた安全安心な空間でお客さまに提供する」ために、「1.他社に真似できない商品の拡大 2.ブランディングの推進 3.インドアプレイグラウンド事業の進化と拡大 4.アジアシフトの加速」を重要な取組み事項と位置付け、成長拡大に向け邁進してまいります。

以上により、2018年2月期の連結業績予想は、売上高690億円(前年同期比6.1%増)、営業利益42億円(同11.4%増)、経常利益39億円(同11.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益19億円(同11.9%増)を見込んでおります。

今後とも株主の皆さまの一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 片岡 尚





片岡社長×小岩責任者

特別対談

Aeon
Fantasy

株式会社イオンファンタジー

アセアン事業責任者兼
インドアプレイグラウンド
事業部事業部長
小岩 渉イオンファンタジー
代表取締役社長
片岡 尚アジア諸国での展開が拡大する
「FANPEKKA」の魅力とは？従来にない世界観が
好評をいただいている理由

片岡：インドアプレイグラウンドの新業態店舗である「FANPEKKA（ファンペッカ）」は、2015年4月に中国・北京で1号店がオープンし、昨年はマレーシアとタイにも出店しました。アジアでの展開が拡大していますね。

小岩：はい。大変有難いことに多くのお客さまに楽しんでいただいています。「FANPEKKA」はテーマパークとプレイグラウンドの間に位置するような施設で、お子さまの気持ちが楽しくなる空間です。インドアプレイグラウンドの重要な要素は何かと考えると、やはり施設としての世界観やお子さまが感じる楽しさ、

そして発育・知育につながる施設としての価値の提供だと感じていました。これらの要素を従来のインドアプレイグラウンドよりもさらに引き上げ、なおかつテーマパークとプレイグラウンドを合わせたような空間にすることで、ご近所にテーマパークがない方々にも充実した楽しさを味わっていただける施設になったと思います。

片岡：今までにないコンセプトが、お客さまに受け入れられたということですね。

小岩：そうですね。「FANPEKKA」は、フィンランドの文化や教育を遊びに取り入れ、遊びを通じてお子さまの主体的な成長を促し「変化に対応する力」を育むことを目指しています。ま



た、施設内は本格的なお城や船の遊具で独自の世界観を演出しているだけでなく、保護者さまにくつろいでいただけるカフェも取り入れています。

片岡：「FANPEKKA」は中国でチェーンストア経営協会のチェーンストア・ブランド最人気賞を受賞しました。大変素晴らしいことですね。このように各国で好評を博している理由はどこにあると考えていますか？

小岩：基本的に、インドアプレイグラウンドはお客さまを集める「集客力」をショッピングモールから求められています。我々の施設は出店各国の在フィンランド大使館からそれぞれオフィシャルサポートを受け、「伝説の妖精トントが魔法をかけた街」をモチーフにした従来にない世界観を作り上げました。お客さまからも大変喜んでいただき、オープン初日から行列ができましたので、そういった中世の雰囲気とトントの魔法が入り交じった不思議な空間がご好評をいただいている理由の一つだと感じています。

今後3年間で20店舗を出店し アジア諸国での展開を拡大する

片岡：現在は6店舗すべてを海外で展開していますが、日本とは異なる海外ならではの難しさもあるのではないですか？

小岩：大きく言うと2つあります。一つは我々がイメージしている世界観を、ハードウェア面で具現化できる内装会社をはじめとする現地のお取引先さまを、一から探さなければならないこと。もう一つはソフトウェア面で、施設で働くスタッフの教育で

す。例えば、フィンランドという国についてあまり知らない、テーマパークそのものに行った経験がないスタッフの皆さんにも、我々の施設が提供する価値やお客さまに対するサービスを理解した上で接客にあたってもらわなければいけません。そのステップは非常に大変ですね。

片岡：今後の出店計画については、どのように考えていますか？

小岩：まずは今後3年間で20店舗を出店したいと思っています。今年はすでに6店舗の出店が決定していますが、ショッピングモール等からご要望をいただければ、さらに追加していきたいとも考えています。また、来年以降についても「3年間で20店舗」の実現に向けて、着々と準備を進めているところです。



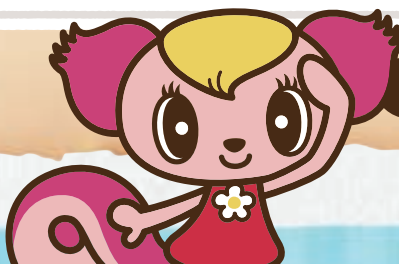
おかげさまで設立20周年！

株式会社イオンファンタジーは、2017年2月14日に設立20周年を迎えました。1997年の設立以来、「遊びを通じて夢と楽しさとふれあいを提案し、地域社会に奉仕しよう」という社是の下、ファミリー向けアミューズメント施設を核とした店舗運営を行ってまいりました。これからも世界中の子どもたちとそのファミリーに、遊びを通じて豊かなライフスタイルを提供してまいります。



イオンファンタジーのあゆみ

1988年 3月	ジャスコ株式会社 SC 部 アミューズメント事業課 創立	2012年 5月	「イオンファンタジータイランド」設立
1988年 7月	1号店「ファンタジーパーク大館店」を ジャスコ大館店（秋田県）に出店	2013年 11月	世界で 400 店舗達成
1997年 2月	株式会社イオンファンタジー設立	2014年 5月	「イオンファンタジーフィリピン」設立
1997年 3月	ジャスコ株式会社より 58 店舗を譲り受け営業開始	2014年 5月	「スキッズガーデン」が マザーズセレクション大賞ベストサービス部門受賞
1999年 11月	直営 100 店舗達成	2014年 8月	新業態「東京こども区こどもの湯」が 東京スカイツリータウン® にオープン
2001年 7月	「モーリーファンタジー」として イオン三川店（山形県）に初出店	2014年 11月	「イオンファンタジーインドネシア」設立
2002年 2月	JASDAQ 市場株式上場	2014年 12月	世界で 500 店舗達成
2003年 11月	東京証券取引所第二部に株式を上場	2015年 3月	Web アニメ「ラララ ララちゃん」公開
2005年 2月	東京証券取引所第一部に株式を上場	2015年 4月	新業態「FANPEKKA」を中国北京市に初出店
2006年 8月	株式会社マイカルクワイエットと合併	2015年 6月	株式会社ファンフィールドと合併
2006年 9月	直営 300 店舗達成	2015年 6月	新業態「cafe moriccha」を ダイエー赤羽店（東京都）にオープン
2007年 9月	初の海外子会社「イオンファンタジー北京」を設立 現地社名は「永旺幻想（北京）児童遊楽有限公司」	2015年 12月	世界で 777 店舗達成
2009年 7月	「スキッズガーデン」を モーリーファンタジー与野店内（埼玉県）に初出店	2016年 3月	アニメ「ラララ ララちゃん」CS 放送 キッズステーションにて放映開始
2010年 12月	「キッズーナ」を大宮サティ（埼玉県）に初出店	2016年 5月	世界で 800 店舗達成
2011年 3月	「イオンファンタジーマレーシア」設立		





トピックス



イオンファンタジー中国が表彰されました！

イオンファンタジー中国は2017年3月18日に中国文化遊楽協会より優秀企業賞、優秀遊楽場所経営賞、優秀経営者賞、また中国遊戯機械楽園協会より優秀室内遊楽ブランド賞の表彰を受けました。



88年
大館店（1号店）のメリーゴーランド



05年
東京証券取引所第一部に上場



10年
大宮に1号店をオープンしたキッズーナ



15年
新業態のFANPEKKA

「よくばりパス」の導入がスタートしました！

専用ICカードを使用し一定時間ゲーム機で遊びまくれる新システム「よくばりパス」を4月中旬より全国100店舗に順次導入しております。是非ご利用ください。

※一部対象外機や利用回数に制限があるゲーム機がございます。



初めてのキャラクターショーを開催しました！

キャラクターブランディング推進の取組みの1つとして、2017年3月に「ララちゃんとおそぼう!! がっきでチャチャチャ」を初開催しました。全国8ヶ所のイオンモールでたくさんのお子さま達と触れ合いました。

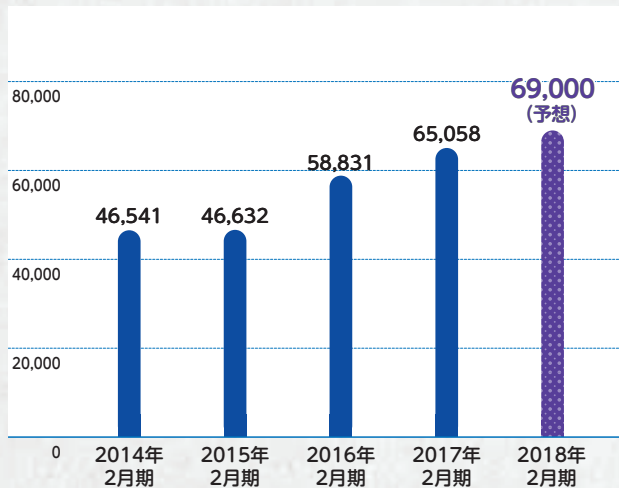




売上高

(単位:百万円)

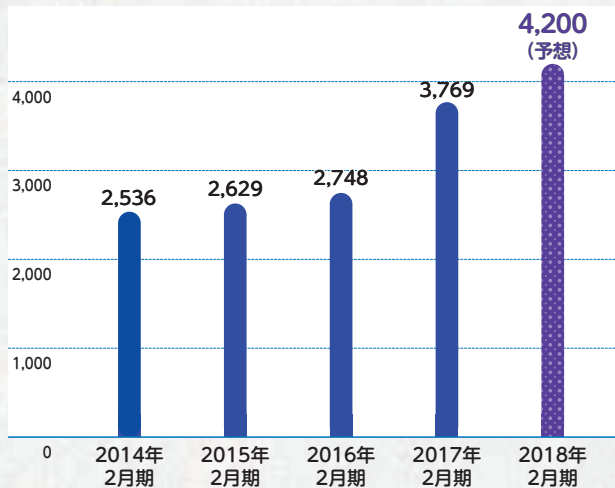
■ 通期



営業利益

(単位:百万円)

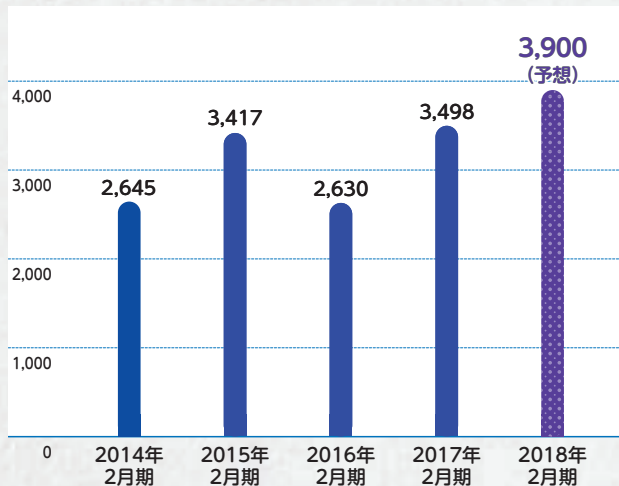
■ 通期



経常利益

(単位:百万円)

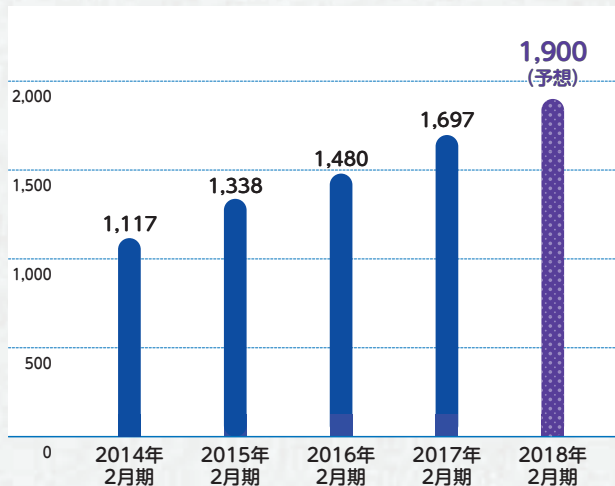
■ 通期



親会社株主に帰属する当期純利益

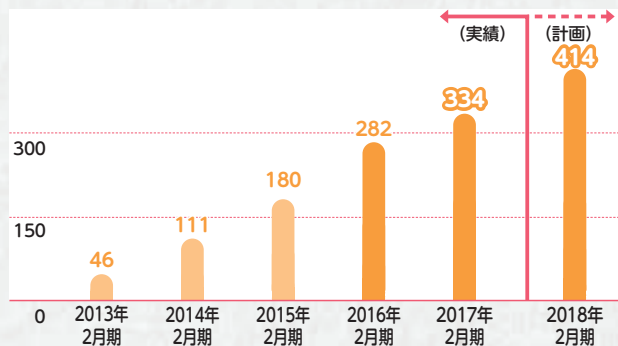
(単位:百万円)

■ 通期



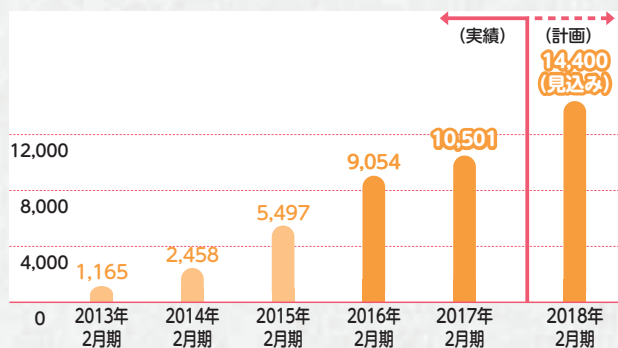
海外店舗数の推移

(単位:店)

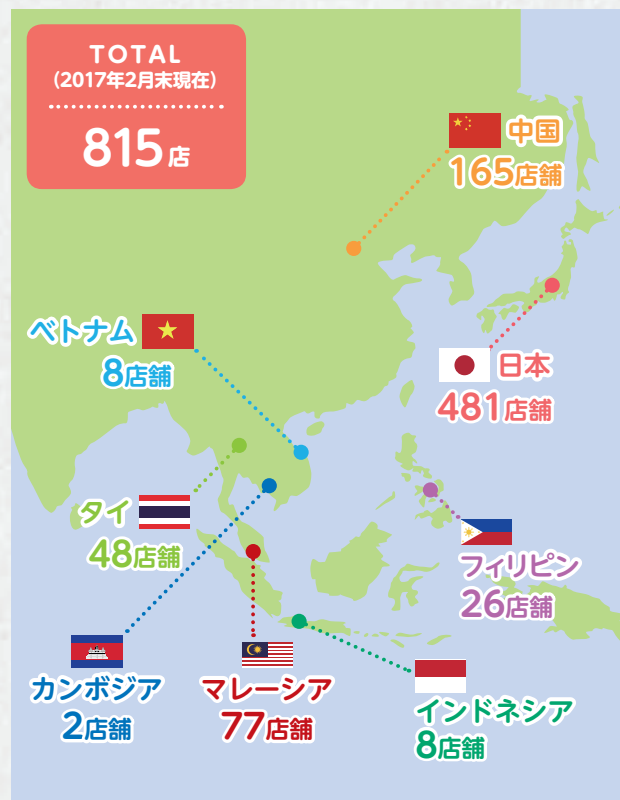


海外事業売上高の推移

(単位:百万円)



世界の店舗数



国別の業績

(単位:百万円)

	中国		マレーシア		タイ		フィリピン		インドネシア	
	2016年 2月期	2017年 2月期	2016年 2月期	2017年 2月期	2016年 2月期	2017年 2月期	2016年 2月期	2017年 2月期	2016年 2月期	2017年 2月期
売上高	6,423	7,175	1,569	1,728	634	668	310	685	115	242
店舗利益	910	877	312	340	△42	△143	38	95	20	69
販管費	725	678	165	177	90	96	87	93	58	68
営業利益	185	198	147	162	△132	△240	△49	2	△38	1

社会貢献活動

株式会社イオンファンタジーでは、地域社会に根ざす「良き企業市民」としての社会的責任を果たすべく、様々な環境保全・社会貢献活動に取り組んでいます。

ファンタジースマイルデー



「毎月11日は あそんで募金」

毎月11日、店内にある対象遊具で遊んでいただいた売上の10%相当金額を東日本復興支援活動、子ども支援活動、環境保全など様々な支援活動に役立てています。

ファンタジースマイルデーあそんで募金の実績

2016年度金額	2,768,680円
----------	------------

子ども支援活動

社会福祉施設等支援活動

社会福祉施設の子どもたちをお店にご招待したり、当社キャラクターのララちゃん・イオくんによる社会福祉施設への訪問活動を実施しています。この活動は日本だけでなく、海外子会社でも実施しています。

●2016 年度 ご招待会・社会福祉施設への訪問活動回数

	日本	中国	マレーシア	タイ	フィリピン	インドネシア
活動回数	136	73	77	70	28	1



環境保全活動

ニホンヤマネを守る活動

ニホンヤマネは森林の樹上を生活圏とする日本特産種の「生きた化石」であり、準絶滅危惧種に指定されています。私たちの緑を守るため日本経団連自然保護基金を通じ「ニホンヤマネ保護研究グループ」を支援しています。



ララちゃんのハートフル・ツアー

今回が初の実施となる「ララちゃんのハートフル・ツアー」は、当社の人気キャラクターのララちゃんが全国の児童福祉施設を訪問し、楽しいイベントを通じて子どもたちのすこやかな成長を応援する活動です。



会社概要



会社概要 (2017年2月28日現在)

商 号	株式会社イオンファンタジー																												
本 店 所 在 地	〒261-8504 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1 TEL:043-212-6203 FAX:043-212-6840																												
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.fantasy.co.jp/																												
設 立	1969年10月(実質上の設立1997年2月)																												
資 本 金	17億4,713万9千円																												
事 業 内 容	ショッピングセンター内「アミューズメント施設」 及び「インドアプレイグラウンド」の運営																												
従 業 員 数	1,379(7,184)名(連結) ※カッコ内は、契約社員・パートタイマーを含む人数です。																												
店 舗 数	815店舗(連結) (日本481店舗、中国165店舗、マレーシア77店舗、 タイ48店舗、フィリピン26店舗、インドネシア8店舗、 ベトナム8店舗、カンボジア2店舗) ※FC等を含む																												
役 員 (2017年5月19日現在)	<table> <tr> <td>代表取締役社長</td><td>片岡 尚</td></tr> <tr> <td>常務取締役</td><td>新田 悟</td></tr> <tr> <td>常務取締役</td><td>藤原 徳也</td></tr> <tr> <td>取締役</td><td>田村 純宏</td></tr> <tr> <td>取締役</td><td>梶田 茂</td></tr> <tr> <td>取締役</td><td>高野 恭子</td></tr> <tr> <td>取締役</td><td>藤原 信幸</td></tr> <tr> <td>取締役</td><td>小岩 渉</td></tr> <tr> <td>取締役</td><td>大矢 和子</td></tr> <tr> <td>取締役</td><td>小風 明</td></tr> <tr> <td>常勤監査役</td><td>藤原 雄三</td></tr> <tr> <td>監査役</td><td>中野 信雄</td></tr> <tr> <td>監査役</td><td>平野 雅彦</td></tr> <tr> <td>監査役</td><td>杉本 茂次</td></tr> </table>	代表取締役社長	片岡 尚	常務取締役	新田 悟	常務取締役	藤原 徳也	取締役	田村 純宏	取締役	梶田 茂	取締役	高野 恭子	取締役	藤原 信幸	取締役	小岩 渉	取締役	大矢 和子	取締役	小風 明	常勤監査役	藤原 雄三	監査役	中野 信雄	監査役	平野 雅彦	監査役	杉本 茂次
代表取締役社長	片岡 尚																												
常務取締役	新田 悟																												
常務取締役	藤原 徳也																												
取締役	田村 純宏																												
取締役	梶田 茂																												
取締役	高野 恭子																												
取締役	藤原 信幸																												
取締役	小岩 渉																												
取締役	大矢 和子																												
取締役	小風 明																												
常勤監査役	藤原 雄三																												
監査役	中野 信雄																												
監査役	平野 雅彦																												
監査役	杉本 茂次																												



ホームページのご案内

<http://www.fantasy.co.jp/company/ir>

決算・財務資料やニュースリリース、株主優待制度などについての情報提供を行うほか、決算説明会の様子を映像で紹介しています。ぜひ、ご活用ください。

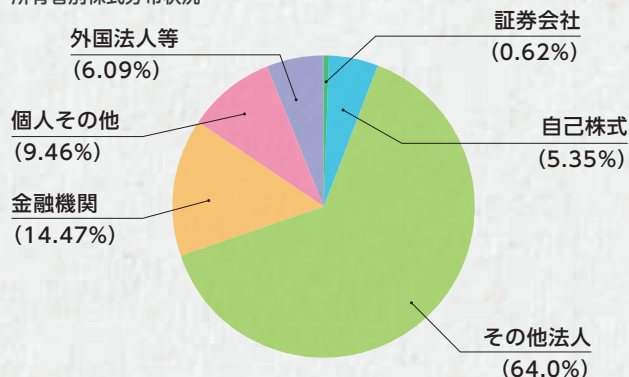


株式状況 (2017年2月28日現在)

発行可能株式総数	50,000,000 株	
発行済株式の総数	19,713,825 株	
株主数	10,781 名	
大株主(上位10名)	当社への出資状況	
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	12,911	65.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,432	7.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	590	3.00
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	156	0.79
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	137	0.70
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	119	0.60
マックスバリュ西日本株式会社	114	0.58
イオンフィナンシャルサービス株式会社	114	0.58
イオンモール株式会社	114	0.58
野村信託銀行株式会社(投信口)	110	0.56

(注) 持株比率は自己株式(10,524株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主優待制度のお知らせ

株主の皆さまにご利用いただきやすい優待制度を設けています。
魅力ある株主優待を、ご家族でご利用ください。

2月末日現在でご所有株式数
100株以上1,000株未満の株主さまに

特典 1 3,000円相当の株主ご優待券を進呈

+

特典 2 「魚沼産コシヒカリ新米3kg」の進呈

※ミディ胡蝶蘭については6月下旬前後、イオンギフトカードについては
8月下旬前後、新米については10月下旬前後の発送を予定しております。

2月末日現在でご所有株式数
1,000株以上の株主さまに

特典 1 6,000円相当の株主ご優待券を進呈

+

特典 2 イオンギフトカード(4,000円)又は
「ミディ胡蝶蘭」又は
「国産有名ブランド米新米」の進呈
(魚沼産コシヒカリ新米5kg等の中からいずれかひとつ)

〈株主ご優待券対象施設〉

- ・ モーリーファンタジー、モーリーファンタジーf、PALO、NOSICA
(メダル、メダル有料イベント、体感ゲーム、定置乗り物、メリーゴーランド、スキップガーデン、
わいわいぱーく、ボールプール) ※一部対象外のゲーム機がございます。
- ・ キッズーナ、東京こども区こどもの湯、カフェもりっちゃん (施設利用料金のみ)

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
基準日 期末配当、定時株主総会 2月末日
中間配当 8月末日
(そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします)
定時株主総会 5月
公告方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
当社の公告はホームページ(<http://www.fantasy.co.jp/>)に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および
全国各支店で行っております。
電話照会先 ☎ 0120-782-031
上場市場 東京証券取引所市場第一部(証券コード：4343)

木を植えています
私たちはイオンです



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。